ひのはよいとこおさんぽマップ

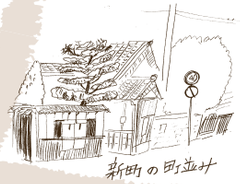
古いまちなみの残る日野町。
まちなかにはレトロで
かわいいものがあちこちに！
ぜひ散策してみてください！

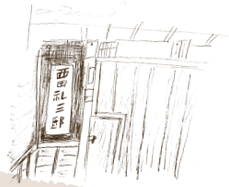
万病感応丸
まんびょうかんのうがん

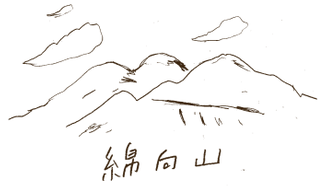
近江日野商人の一人、正野玄三が考案した薬。もとの名は『神農感應丸』ですが、万病に効き目がある！と評判を呼び『万病感應丸』と呼ばれるようになったそう。
地域の人たちには今でも常備薬として親しまれている。

日野まちかど感応館
万病感応丸の看板

桟敷窓
5月2日･3日に行われる850年の歴史をもつ「日野祭」を家の中から楽しむために設えられた床と窓。祭の日は赤い毛氈と御簾をつけて飾り付けられる。





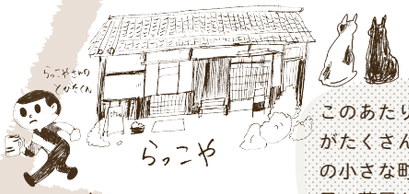


越川町
バス停

曳山の山ぐらが
あちこちに

観光
駐車場 P

西の宮
バス停



このあたりは江戸の頃より、日野町内でも薬屋がたくさん集まっている町だった。20軒ほどの小さな町内に丸薬を作る職人さんがいて、薬局、薬屋が7軒あったとのこと。

Coffee Roastery & Cafe『らっこや』
自家焙煎コーヒーが自慢の古民家カフェ

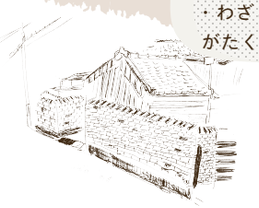
用心下駄
家の主人が出店へ行ってしまうことが多かった近江日野商人の家。男性の不在を悟られないよう玄関に男の下駄をおいておいたそう。

願証寺

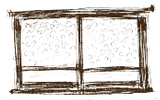
西円寺

昭和を感じる看板

戦国のころ、蒲生氏の城下町であったこのあたりには、敵から攻め込まれにくくするための工夫として、遠くを見通すことができないように、
・わざと付けられた勾配
・わざとずらして作られた交差点
・わざとカーブを付けられた道
がたくさんある。



まちなかの古いたてものには、可愛らしい模様の型ガラスや窓飾りなどが多くみられる。探してみて！

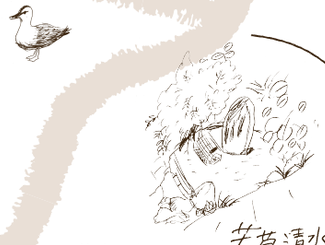


あちこちにレトロなガラス窓が。

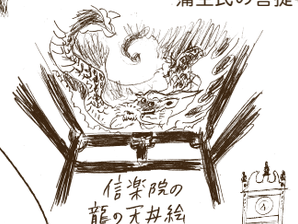
信楽院
蒲生氏の菩提寺

近江日野商人のふるさと日野町

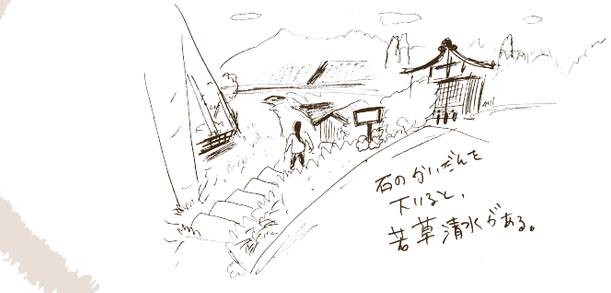
江戸時代から明治時代にかけて、日野に本宅を置き、主に関東方面に漆器や薬などの行商、醸造業の出店を設けて商いをしていた。信条は、勤勉･倹約･正直･堅実。八幡表に日野裏、といわれるほど、近江日野商人の家の表は質素に作られているが、中は豪華な住宅が多い。

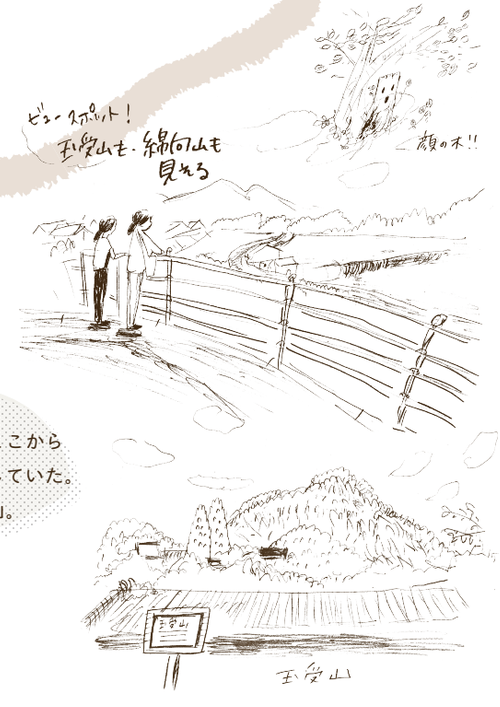


蒲生氏郷公が
茶湯にこの水を使ったとか…

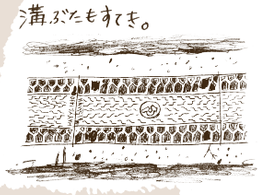


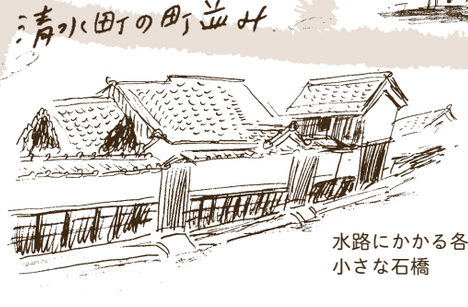
お寺の時計





戦国時代、城下で作られた「日野鉄砲」をここから撃ち、届くかどうか火縄銃の性能をテストしていた。向こうの山は鉄砲の玉を受ける山、で玉受山。





水路にかかる各家ごとの
小さな石橋

制作：一般社団法人アワセルフウド　イラスト :kanco.　協賛：らっこや